並列コードセット取扱説明書

⚠警告

取り扱いを誤った場合、死亡、重傷・傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注 意

取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要 点

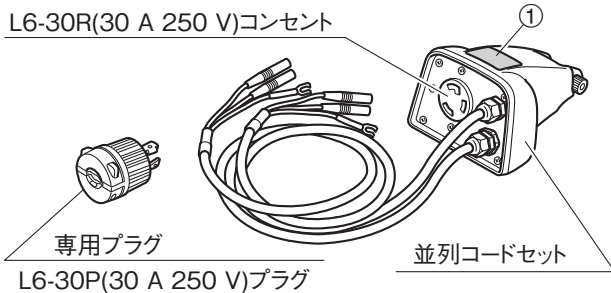
正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

重要ラベル

並列コードセットに貼付されているラベルを熟読し、正しく使用してください。

要 点

ラベルは常に手入れを行い、破れたりはがれたりした場合はヤマハ発電機販売店またはサービス店に相談して、直ちに新しいものと交換してください。

①

手 順

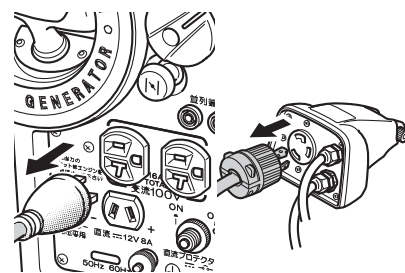
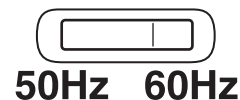
⚠警告

- 電力会社からの電気配線には絶対に接続しないでください。
- ヤマハ純正並列コードセットを使用して同じ２台のヤマハ発電機の並列運転ができます。３台以上の並列運転はできませんので、必ず並列コードセットを使用して２台の発電機を並列運転させてください。
- 並列運転には、ヤマハ純正並列コードセットのみ使用できます。並列コードセット以外は絶対に接続しないでください。
- ヤマハ純正並列コードセットの発電機への接続、および電気器具（専用プラグ）のコンセントへの接続は奥までしっかりと差し込んでください。
- ヤマハ純正並列コードセットのコンセントには必ず同梱された専用プラグ、又は適合するプラグを差し込んでください。
- 並列運転中は、ヤマハ純正並列コードセットのコンセントからのみ電力を取り出してください。発電機の操作パネルのコンセントは使用しないでください。
- 同梱された専用プラグは、ヤマハ純正並列コードセット以外には使用しないでください。
- 並列運転中は、ヤマハ純正並列コードセットを外さないでください。並列コードセットはエンジン始動前に接続し、エンジン停止後に外してください。
- ２台の発電機がそれぞれ単独運転をしている状態でヤマハ純正並列コードセットを接続しないでください。
- ヤマハ純正並列コードセットを接続したまま、一方の発電機のエンジンを止めて電力を取り出さないでください。
- 並列運転をしないで単独運転をするときは、必ず発電機からヤマハ純正並列コードセットを外してください。
- ヤマハ発電機を使用する際には、付属されている発電機の取扱説明書を熟読ください。

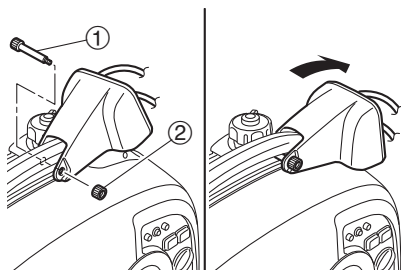
始 動

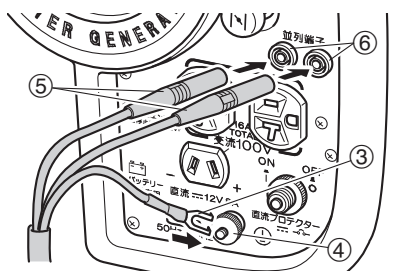
1．同じ機種のヤマハ発電機を２台用意してください。

注 意

２台の発電機を停止させ、コンセントに電気器具のコードが接続されていれば全て取り外してください。

2．２台の発電機の操作パネルの周波数切り替えスイッチを同じ周波数にあわせてください。

3. 図のようにボルト ① を差し込み、ナット ② で締め付けて並列コードセットを組み付けてください。その後、所定の位置にしっかりと取り付けてください。

注 意

- **発電機の左側ハンドル部に並列コードセットを組み付けないでください。マフラーからの排気熱によりケーブルを損傷するおそれがあります。**
- **エンジン始動中、振動で並列コードセット本体が脱落しないようにしっかりと取り付けてください。**

4. 並列コードセットのアース接続端子 ③ を、それぞれの発電機のアース端子 ④ に接続してください。

5. 並列コードセットのコネクタプラグ ⑤ をそれぞれの発電機パネル内にあるコネクタソケット ⑥ にしっかりと差し込んでください。

6. ２台の発電機のうち１台を始動させ、この状態で出力ランプが発電機上で点灯し、正しく機能していることを確認してください。

要　点

並列コードセットが正しく２台の発電機に接続されていると、エンジンを始動させていない一方の発電機の出力ランプも点灯しますが、これは故障ではありません。

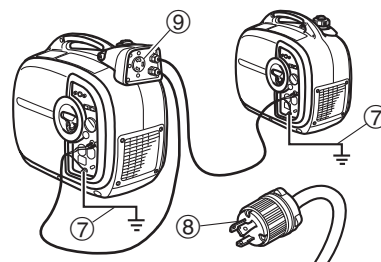
7. ２台目の発電機を始動してください。

注 意

使用電気器具をアースした場合は、必ず両方の発電機本体のアース ⑦ をしてください。

8. 専用プラグ ⑧ に接続された電気器具の電源が入っていないことを確認し、専用プラグ ⑧ を並列コードセットのコンセント ⑨ にしっかりと差し込んでください。

要　点

- 定格出力を超えた過負荷で使用しないでください。
- コンプレッサや水中ポンプなど、起動時に大電流が流れる電気機具を使用したとき、過負荷警告ランプが２～３秒間点灯する場合があります。これは故障ではありません。

停　止

1. 電気器具の電源を切ったあと、コンセントから電気器具の専用プラグを外してください。
2. 発電機を１台ずつ停止させ、その後、２台の発電機から並列コードセットを取り外してください。

YAMAHA
ヤマハモーターパワープロダクツ株式会社
〒436-0084 静岡県掛川市逆川200-1

7PB-F819W-J1
Printed in China
2014 · 11 × 2